



おおしる よしたか
大城 純孝 議員

◆平成30年度の施政方針と予算について聞く

問 施政方針の中で財政状況が緊急的な措置を取らざるを得ない状況で事業の選択を効果的なものに絞るとあるが、この状況はあと何年間を見ているのか伺う。

総務部長 毎年増加する扶助費に加えて、西地区土地区画整理事業の進捗に引き続き対応しつつ、国保の赤字解消プランの再度見直しを進める。まず、5年間は厳しい状況にあると思う。

問 財政計画で、中期財政シミュレーションを行うとあるが、次年度からどのような対応をするのか。

総務部長 本町の財政規模にあった事業計画で進めていかなければならないと思う。

問 歳出で、義務的経費の割合が恒常的に高いが、どのように抑えていくのか。

総務部長 職員の定数の管理等による人件費の抑制や起債の発行額の抑制などの努力によって、



いは ときお
伊波 時男 議員

◆琉大医学部等移転

問 琉球大学医学部と附属病院の移転関連費として県は約3億円計上したが、町当局の見解は。

町長 移転整備基本計画では、平成36年度中に建設工事、そして移転を完了し、平成37年度より開業予定で移転後、上原キャンパス跡地利用について、今後、琉球大学や関係機関を交えて、跡地利用検討会の中で、意見交換をしたい。

問 マイス施設は平成31年度中ごろ完成予定だったが、西原町の後背地のホテル用地やショッピング等用地計画を聞く。

建設部長 大型マイスで、国の一括交付金がまだ決定されていない

ない要因は、事業の採算性で周辺環境整備の具体化の課題と同時に、町の後背地についてもマイスの受け入れ環境整備可能性基礎調査で、国もマイスとセットで一括交付金の事業としての認可を見送っているためである。

問 幸地地区での組合方式での都市整備課主幹組織体制は。基本的には組合方式で、その地区の仮同意は90%が前提で、仮同意をもらった後、基本計画の策定、定款関係の作成、本同意後、役員体制に入る。

問 浦西駅周辺の徳佐田・幸地インターチェンジ周辺の組合方式で計画の土地地区画整理事業の進捗状況。坂田のマックスバリユは、現在の場所に移転後も再開する計画であると理解しているが。

問 徳佐田地区は、役員体制の動きがあると聞くが。都市整備課主幹 徳佐田地区の北側のほうは既に調査が終わり、基本計画、平均減歩率まで示しており、南側、北側も含めて一体化した整備が一番重要だと思っており、地権者の同意が得られるよう、今後も進めていく方針である。

◆学校教育について問う

問 大型MICE施設建設決定後の現状をどう思うのか。町長 県の21世紀ビジョン地域振興開発において、明確に位置付けられており、観光振興を含めた大型の施設で一括交付金の決定が遅れている。本町としても県との連携はもちろん、地元自治体、さらに東海岸地域サンライズ推進協議会を含めて予算の確保に取り組みたいと考えている。

◆大型MICE施設の実現とまちづくりを問う

問 大型MICE施設建設決定後の現状をどう思うのか。

類似団体平均に近い比率になっているのではないかと考えている。

問 就学援助の見直しでいったん削減し、又、補正で復活することだが、財源はどうするのか。

企画財政課長 当初は2千万円だが総額で4千万円になると思うので、別の費用でスクラップ&ビルドしながら6月の補正までに検討することになっている。



沖縄県文化観光スポーツ部資料から

再開 海外移住者子弟研修受け入れ事業



西原町では、研修生の日本語能力が十分ではなく、受け入れ態勢に課題があるとしていたが、改善のめどが見ついたとして、2017年度に休止していた同事業を「2018年度から再開させる」と3月議会で小橋川教育部長の答弁があった。

議会でも、一般質問等で同事業の継続に向けて取り組んできたが、行政側の迅速な対応で、復活することができ、喜ばしいことである。ただ研修生が3人から1人に削減されたのは今後の課題である。研修生は、毎年各国を輪番で受け入れ予定で、平成30年度はペルー共和国から受け入れ予定である。

西原町議会のトップページに飛びます。右側のバナーから議会中継(録画)をクリック!



インターネットで議会中継(録画)を見よう!
パソコンの検索機能を使って西原町の議会や議員のことをもっと知ってみませんか?



西原町のホームページの左下にある「議会」のボタンをクリックします。



町議員の一般質問などが見られます。

